

延岡中学校 学校だより 6月号

6月29日(土)の延岡大空襲慰霊祭について

今年の3月にマララ・ユスフザイさん（パキスタン出身）という女性が、国際女性会議の基調講演のため来日しました。マララさんは、15歳の時（2012年）に、イスラム過激派（テロ組織）にスクールバスの中で銃撃され、イギリスに搬送されました。その9ヶ月後、ニューヨークの国連本部で戦争や紛争（テロ）をやめ命や（女性）教育を大切にしようとして世界に訴えました。そのことで、若干17歳でノーベル平和賞を受賞しました。そのマララさんが廃絶を訴える戦争が、今から74年前の日本、そしてこの延岡市でもあったのです。

それは太平洋戦争です。その戦争の末期昭和20（1945）年6月29日に、延岡大空襲がありました。当時の記録によると、深夜午前1時15分、空襲警報のサイレンがけたたましく鳴り響き、市民は一斉に防空壕に避難したそうです。度重なる空襲警報で、皆「いつも通りの上空通過だけで終わるだろう」と考えていたところ、その日だけはいつもとは違って、次第にB29（爆撃機）の旋回音が大きくなり、不気味な落下音とともに焼夷弾攻撃が始まったそうです。爆撃は2～3時間余にわたり、街はまたたく間に火の海と化し、即死者130人、戦災面積2.18 km、被災戸数3765戸、被災者15,232人という大惨事となったのです。そして、安賀多国民学校（現延岡中）の教諭だった栗田彰子先生（カナダ生まれの日系二世で日本語教師の資格取得のため昭和13年から延岡市に来日）が、校舎に火が燃え移ったのを見て防空壕を飛び出したところ、焼夷弾が頭を直撃して亡くなられたのだそうです。


残念ながら、マララさんが言うように今も世界のいたるところで、たくさんの人命が戦争などで奪われています。幸運なことに日本は、この74年間他の国と戦争することなく平和が保たれています。我々はそのことをあまり意識していませんが、大変幸せな事だと言えます。戦争は最大の人権侵害だとも言われますが、6月29日はその当時の事を知り、犠牲者になった全ての方々、そして栗田先生の悲劇を忘れず平和の尊さについて考える機会にしてください。

2年生が修学旅行に出発します

いよいよ6月19日から2年生が修学旅行に出発します。今年は初日に福島県まで行き、東日本大震災の復興状況を見学し語り部の方の講話を聴きます。

2日目は、東京に戻り4つのコースに分かれてテーマ別研修を行います。その中の一つの班が、学校を代表して巣鴨の「座・ガモール」で延岡のPR活動を行います。午後は浅草と東京ディズニーランドで過ごします。最終日は、東京スカイツリー、お台場周辺を見学し空路で帰ってきます。

修学旅行は日常生活とは違う様々な体験をすることがひとつの目的です。2年生の皆さんには、災害への認識を深め、様々な見聞を通して視野を広げる機会にしてください。また、中学生時代で最も楽しい思い出のひとつとなることを心から願っています。

7月の行事	1日(月)	3年生実力テスト リフレッシュデー	～2日	12日(金)	参観日、3年高校説明会 学校評議員会・市英単コンテスト
	3日(水)	薬物乱用防止教室(2年)		13日(土)	県中体連 ～26日
	4日(木)	3年生九保大体験学習		18日(木)	認知症サポーター訓練(1年)
	8日(月)	リフレッシュデー		19日(金)	終業式のみ行います。
	10日(水)	薬物乱用防止教室(3年)		21日(日)	家庭の日
	11日(木)	県中体連選手推戴式		22日(月)	終業の日

